



2021 年度第 7 回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時 2022 年 3 月 13 日（日）13：00～15：30

開催場所 静岡県栄養士会事務局

出席役員 ○出席 ×欠席 ○W WEB 参加

職域事業部	会長	副会長	副会長	学校		公衛		研究		勤労
氏 名	坪井	木下	新井	戸田	天野	宇津木	名波	篠原	三浦	森下
出 欠	○	○	○	○W	○W	○W	○W	○	○W	○W
職域事業部	地域				医療				福祉	
氏 名	若林	池谷	森平	袴田	久保田	渡邊美	鈴木	渡邊潤	田森	寺田 杉山
出 欠	○	○	○W	○W	○W	○W	○	○W	○W	○W
監 事	関	梅木								
出 欠	○W	×								

開 会

定刻に至ったため、木下副会長が出席理事を確認、出席者が過半数（うち WEB 参加 15 名）に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

なお、本日は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、会場に来ることが出来ない理事は ZOOM（WEB 会議）システムを用いて、事務局と自宅または勤務先を繋ぎ、遠隔会議を行った。

ZOOM（WEB 会議）システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっている。

議 長

定款第 30 条第 1 項に基づき、坪井会長がこれにあたる。

議事録作成者の選出

議長により、本理事会の議事録作成者に、医療事業部の渡邊美理事、鈴木理事が指名された。

1 会長あいさつ

先日の日栄会長会議で、中村会長よりジャパンニュートリション世界に向けて発信の話があった。世界の問題①低栄養問題、②SDGs 飢餓ゼロ、③気候変動対策、④海陸の豊かさを守る、⑤ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）すべての人たちが高度医療を受ける

栄養士は、病気にならない食事のとり方について関わる必要がある。食料ロスの問題では偏りがみられる。食べられない国に提供。食料生産ができない国、貧困対策のためには、等しく食べられる世界を築く。新しい施策で国民の栄養に寄与することが栄養士としての使命。

2 前回議事録の確認

第 6 回理事会議事録の確認。

全会一致で承認された。

3 代表理事の業務報告（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項）

(1) 坪井会長

1月27日（木）	糖尿病・歯周病 zoom 会議	栄養士会事務局
1月28日（金）	ふじのくに健康増進計画推進 zoom 会議	栄養士会事務局
2月11日（金）	静岡県栄養士大会 zoom	自宅
2月16日（水）	第3回シブアサポート地域包括ケア zoom 会議	自宅
3月5日（土）	静栄ケアステ会議 9:00～	栄養士会事務局
3月5日（土）	栄養代謝の会幹事会 14:00～	労政会館6階会議室
3月9日（水）	DiMS の活用について（日栄 zoom 説明会）	自宅
3月10日（木）	8020 推進住民 web 会議	県歯科医師会
3月11日（金）	三役会議（zoom）	自宅

(2) 木下副会長

2月5日（土）	西部ブロック研修会（WEB）	自宅
2月11日（金）	静栄栄養士大会（WEB）	自宅
2月16日（水）	けんこう浜松21会議（WEB）	自宅
2月27日（日）	DAT研修会（WEB）	自宅
3月2日（水）	浜松市委託事業打ち合わせ	浜松市会議室
3月5日（土）	静栄ケアステ会議（WEB）	自宅
3月11日（金）	三役会議（zoom）	自宅

(3) 新井副会長

2月11日（金）	第7回静岡県栄養士大会（WEB）	
2月27日（日）	静栄 DAT 研修会（WEB）	
3月5日（土）	ケア・ステーション事業部委員会	静栄事務局
3月11日（金）	三役会議（zoom）	職場

4 報告事項

(1) 研修部（渡邊美子理事）

1) 2/11 研修部運営会議開催 ※詳細は議事録参照

① 業務支援システム上の研修会の受付方法について、

- ・来年度再入会の方より、研修会の申し込みをしたのに、確定メールが来ないのはおかしい。
- ・有料受講者は振込をしないと席の確定ができないのはおかしい、とのご意見。

日栄の確定メールには、・本受付したこと・振込先あり。

今後申し込み時点で確定メールを出すように変更予定。

（未納の場合、空席が出ることになるが、現状の受付方法と大きな差はない）

② 2022 年度ビジョン：横のつながりを作ろう

- ・研修会と交流会をセットにした形で企画
- ・研修会に知り合いを誘って参加する

(会員が満遍なく参加/半数以上の会員に1年に1回以上は参加してほしい)

- ・研修に参加して、知り合いを増やす

2) 2/23 2021年度第2回日栄生涯教育担当者会議あり、研修部渡邊参加 ※資料参照

①2022年度生涯教育の運営について(基幹教育オンライン研修開講一覧)

- ・基本研修 e-ラーニング

(新規) 2-1. 特定保健指導のABC ―きちんと制度を知りましょう―等、9項目追加予定
講義は毎月開催、演習はライブ開催: 栄養ケアプロセス(9/5、1/23、2/6)、

- ・実務研修 e-ラーニング

臨床栄養、学校、給食管理、地域栄養、福祉栄養にて計画

講義は毎月開催、演習はライブ開催:(福祉)LIFEの活用方法について学ぶ(8/28、10/17、2/23)

②2021年度基本研修 e-ラーニング 都道府県別申込状況

- ・静岡県 2021年度実申し込み者 75名 / 1371名(会員数) 5.5%
- ・参加してほしい対象: 新入会の方(1~5年目)、再入会の方
- ・栄養ケアプロセスについてはベテランの方にも参加してほしい

③生涯教育運営に関するアンケート結果

④各都道府県栄養士会認定者一覧

認定申請者の促進をしていきたい

⑤TNT-G: 日栄を通さず、各県栄で募集。入金はすべて県栄の収入となる

(2) 栄養ケア・ステーション部(寺田理事)

- ・3/5 栄養ケア・ステーション会議の実施

第2回栄養ケア・ステーションワーキンググループ会議の実施

- ・HPの更新

(3) 学術部(戸田理事)

2022年2月11日(金)に講演会および栄養士大会を実施

- ・講演会 : 参加者-会員63名・非会員5名(学生)、欠席者-16名(欠席者1名は県外の会員)
- ・栄養士大会: 参加者-会員81名・非会員6名(申し込みは12名)、欠席者-16名

発表演題数は11演題。13:00~15:45の実施(15分延長)

- ・賛助会員 : 8社(伊那食品、大島食品、クリニコ、ナリコマ、フード・デリ、信濃化学、SOMPO、ニュートリー) ※資料配布希望8社、動画配信希望5社
動画はお昼休憩(3回)と栄養士大会休憩(1回)の計4回配信

(4) 静栄 DAT(渡邊潤理事)

2021年度静栄 DAT スタッフ研修会報告

①基礎講座(オンデマンド配信)

配信期間: 2月14日~2月28日 参加者: 34名

基礎講座1「災害の理解」

- 基礎講座 2「災害支援と活動の実際Ⅰ」
基礎講座 3「災害支援と支援活動の実際Ⅱ」
基礎講座 4「栄養アセスメントと指導・相談」
基礎講座 5「災害時の食事」

②グループワーク（Zoomによるライブ配信）

日時：2月27日（日）13：00～15：00 参加者：31名

（1）講演「熱海市伊豆山土石流災害の概要と被災者支援」

講師：熱海市役所 健康づくり課 鹿田しげみ氏

（2）グループワーク「災害事例から学ぶ食と栄養の支援」

（5）学校健康教育事業部（戸田理事）

2022年1月29日に全国学校健康教育事業部リーダー研に参加（戸田、天野）

2023年度を目標に学校現場における個別指導の研修を実施するよう全国より依頼があった。

中部ブロックは、愛知県がロールモデルとなり2022年度研修を実施する予定。

（6）公衆衛生事業部（宇津木理事）

①日本栄養士会主催「公衆衛生実務研修会」（オンライン研修）

2月20日（日）10：30～16：30 名波理事、宇津木出席。

テーマ：（1）自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた産学官連携の在り方の方向性についての理解を深め多様な専門職及び事業者と連携・協働した推進方策を考える

（2）新たな健康・栄養課題の解決に向け、勤務年数や職位に応じて行政栄養士が身につけておくべき知識や技術、目指すべき姿を具現化するために必要な育成・研修プログラムについて考え、実践できる

②日本栄養士会公衆衛生職域「行政栄養士による活動事例」の提出について

下記の2事例を日本栄養士会に提出しました。

県事例（健康増進課）：しずおか健幸惣菜の普及

市町村事例（磐田市）：いただきます お箸を持ったら 野菜から

～民間企業×磐田市 コラボでベジ・ファーストの推進～

（7）研究教育事業部（篠原理事）

2月12日全国リーダー研修会（Web） 篠原出席

内容 午前：2021年度研究教育職域事業報告および2022年度以降の計画案

午後：「コロナ禍、そして未来臨地実習及び校外実習在り方を考える」

午前中は、研究教育事業推進委員会の報告を受け、中断している地区別運営委員会の在り方の必要性について話し合い、Web等を活用し年1-2回程度の会議を東海北陸地区でも行う希望を上奏した。午後は4つの報告を聞き、グループ別の話し合いで校外実習運営の方法について知見を得た。

(8) 地域活動事業部（若林理事）

1月29日（土）9:00～13:00 地域活動事業部全国リーダー研修会（WEB）が開催された。

報告（若林・池谷出席）

（公社）日本栄養士会地域活動事業推進委員会委員長に静岡県栄養士会の佐野ちえみ氏が推薦を受けた。

来年度の東海北陸ブロック研修会は開催なし、代わりに東海北陸リーダー会（web 開催）は承認。日本栄養士会の組織についての説明がされた。

- ・地域活動職域管理栄養士・栄養士ビジョンの案が示された。

基調講演「未来の地域活動職域に期待すること」（公社）日本栄養士会代表理事会長中村丁次

- ・グループワーク・意見交換会が行われた。

テーマ「未来の地域活動について」について意見交換をした。

事例発表が3例出された。福井県・沖縄県・大阪府 であった。

(9) 勤労者支援事業部（森下理事）

2月13日（日）2021年度勤労者支援職域管理栄養士・栄養士育成のための全国リーダー研修会出席（WEB）

これからの勤労者支援職域のビジョンについて話し合いが行われました。

領域が広い職域のため、所属先により4領域にグループ分け行うという案が提示されました。

食事提供領域・製造流通領域・健康情報領域・医薬品販売領域の4グループ。

職域を選ぶ時にわかりにくかったドラッグストアや製薬会社などは、勤労者支援を選びやすくなると思いました。

意見交換の中で広島県栄養士会では「職域を現在の職種に変更をお願いします」というメールを配信したところ勤労者支援の人数が増えたという意見がありました。

(10) 医療事業部（久保田理事）

- ・2021年度病院医療関連職域管理栄養士・栄養士育成のためのリーダー研修会

2月13日（日）10:00～13:15 WEB 開催 参加者：久保田事業部長、渡邊美子理事

【報告事項】第3回及び第4回（公社）日本栄養士会医療職域事業推進委員会報告

- ・第41回食事療学会：1206名（2/9時点、目標2000名）、演題デジタルポスター56件（目標100件）。→会議後〆切2/18時点で2000名超え

- ・2022年以降研修会受講料の値上げ：WEB開催により受講人数が増加し参加証発行増で郵送費及び業務量が増加。損益分岐点を考慮し消費税分（10%）値上げ方向。

下半期東海北陸地区リーダー研修会の報告

- ・会員増対策：事業運営において情報の周知やPR、会員限定の研修会の他に、復職支援や相談窓口、学会発表のサポート、交流の機会を持つなど意見が挙がった。
- ・専門管理栄養士取得者増への取り組み：各資格の周知、認定条件の見直しなどの意見。
- ・2022年実態調査項目：病棟配置、医師のタスクシフト・シェアの考え方で管理栄養士ができてそうな項目や課題、回復期や維持期の栄養管理の評価が進むような調査等。
- ・令和6年度医療・介護同時改定へ繋ぐ現状の課題とその方策：介護施設、特定機能病

院の病棟配置の算定を急性期から回復期、慢性期病院と加算拡大にする戦略が必要。

- ・機能強化型認定栄養ケア・ステーション設置勧奨対策：人材不足、広報活動が必要。
- ・就職相談会及びニューカマーミーティング、ファシリテーターの各県から推薦依頼。
- ・食事療法学会の今後の運営：全体の意見としてWEB開催の継続を希望する。
- ・役員改選：2022～2023年度 主幹事は三重県、副幹事は静岡県。
- ・診療報酬改定お知らせ日栄にリンクされている
- ・急性期の栄養管理に関する研修会の開催する予定。啓発活動を行う。

(11)福祉事業部(田森理事)

- 1/29(土) 栄養ケアマネジメントステップ00 研修会④ 参加 30 名 (うち非会員 11 名)
- 2/19(土) 栄養ケアマネジメントステップ00 研修会① 参加 20 名 (うち非会員 10 名)
- 2/26(土) 全国福祉栄養士リーダー研修会 (杉山参加)
- 3/12(土) 在宅介護者の食生活支援事業 参加 16 名 (ライブ配信)

(12)委託事業

①介護予防推進指導者研修 (若林)

契約変更届を静岡県健康増進課に提出済み 480 万→460 万

アンケート集計が終わり取りまとめて県に提出。

②元気を見つめる外食活用推進事業 (若林)

2 月 28 日付で委託期間終了、営業指導センターへ事業報告と収支決算を提出済み

③飲食店向け「健康な食事」について(森平)

2 月 28 日付で委託期間終了、営業指導センターへ事業報告と収支決算を提出済み

④富士宮市食文化推進プロジェクト事業(若林)

2 月 28 日付で委託期間終了、富士宮市食のまち推進室へ事業報告と収支決算を提出済み

⑤食べるから繋がる地域包括ケア推進事業 (池谷)

3 月 15 日付で委託期間終了静岡県健康増進課に事業報告と収支決算書提出予定

⑥ 食品表示適正化・活用普及事業 (池谷)

2 月 28 日付で委託期間終了静岡県健康増進課に事業報告と収支決算書提出済み

(13)在宅介護者食支援研修

- ・昨日実施し、ライブで 16 名の参加

(14)令和 4 年度の診療報酬改定に関わる各種研修会のご案内

- ・日栄へのリンクを、静岡県栄養士会ホームページのお知らせへ掲載
- ・令和 4 年度診療報酬改定に対応した急性期の栄養管理に関する研修会は、研修案内のページに掲載

5 協議事項

(1)2022 年度事業計画及び予算案の承認について (新井事業部長、木下総務部長)

【配布資料；2022 年度公益社団法人静岡県栄養士会事業計画 (案)、2022 年度収支予算書 (案)】

① 2022 年度公益社団法人静岡県栄養士会事業計画（案）について

事業計画（案）の内容については承認された。

誤字脱字があれば 3 月 18 日 17:00 までに事務局へ連絡する。

②2022 年度収支予算書（案）について

1 月理事会で承認された予算書を基に、2 月に会計事務所で公益法人の予算書を作成。

会員 1338 名 新規入会 131 名で算出。

収支予算書（案）は承認された。

(2) 研修部（渡邊美子理事）

①2022 年度総会 特別講演の講師（案）について

「防災」をテーマとして提案

- ・ 静岡県栄養士会 DAT の体制や活動、JDA-DAT とのつながり
 - ・ 各事業部の防災対策（シンポジウム）やワークショップ（情報交換・情報共有）
 - ・ 例年実施している「静岡県の健康課題と取り組み」等の最新情報の講演も依頼したい
- DAT と県の講演を合わせて開催することは、全会一致で承認。
DAT 災害支援の人的対応派遣者の登録システムが出来上がった。
システム登録による派遣制度の紹介など検討。

②2022 年度の研修会について

（各事業部から）

- ・ 研究教育→運営委員を含めて検討の予定。オンデマンド研修を検討
 - ・ 学校→9 月 10 日「対人スキルアップ」昨年度と継続で芹沢翼先生にて調整
 - ・ 公衆・地域・勤労→3 事業部合同で、講師を招いて講義を予定。詳細は今後相談
 - ・ 地域→7 月 9 日または 10 日 委託事業で外食活用（講師養成講座）
 - ・ 医療→病態講座を 2 コマ。詳細は今後相談
 - ・ 福祉→ステップ 0 研修を開催予定（2021 年度は日栄から依頼でステップ 00 研修を実施）
寺子屋（名称は変更）
 - ・ 総会で（案）に上がった内容も含めて、各事業部で相談する
 - ・ 単に講義を聴くだけでなく、人とつながる機会も必要
 - ・ 1 日 1 講演に限定せず、1 日に複数の講演に参加できて、途中の時間で交流会なども検討
 - ・ 講演依頼の際、可能であれば録画の可否も確認。オンデマンド等でも参加できる環境も検討
- 横のつながりを作ることができる仕組みづくりを検討している。
講師の許可あれば、オンデマンドの開催もすすめていく。
可能であればハイブリッドも視野に入れていく。予算的にはプラス会場費、講師旅費。
効果が得られる方法を検討することで承認。

③ハイブリッド・集合開催時の会場について（戸田理事）

- ・ あざれあの会議室：建屋の外壁工事のため以下の日程は会議室の利用を停止

- ・令和4年 8/20～10/31、11/15～12/26、令和5年 2/15～2/28
- ・学校事業部研修会（9/10）下記にて検討
- ・a：グランシップ 904, 908, 1002 会議室 席数 72
費用 会場 6,050 円（13:00～17:00） プロジェクター 1,290 円
- ・b：サンウェル沼津 大会議室 席数 100 利用券は池谷理事が持っている。
費用 会場 4,190 円（13:00～16:30）（参加費をとらなければ無料）
- ・c：県教育会館 A 会議室 席数 60
費用 会場 8,200 円（13:00～17:00） プロジェクター 1,000 円、スクリーン 0 円
会場については、ハイブリッドを行う事業部の参考に。
参加者増と参加者の利益が多くなる方向を検討する。

④生涯教育修了証の発行について

シルバー修了会員。ゴールドを目指すために単位認定の希望があった。

生涯教育制度のシステム変更により基本必須研修20単位が終了していないと、次にすすめない。
生涯教育制度が開始し、キャリアノート第1版では4-9、4-10の演習は2項目で2単位であったが、第2版へ移行し各項目1単位となった。移行期間中に4-9、4-10の演習を一連で開催していたが、システム上では4-10で単位認定をしており、4-10を2単位取得され、4-9が単位不足の状態。また全部で60単位必要だが、生涯学習時の移行分と併せて60単位となっている、日栄に確認し、4-10ではなく4-9での単位認定への変更と、過去の単位取得も合わせて60単位で問題ないとの日栄の方針も示されたため、三役会議で協議し、修了証の発行を許可された。
修了証の発行については、全会一致で承認された。

全国でも98%は修了証の扱いを行っていないため、日栄では今後見直しの予定。

⑤ 研修会案内文書について

- ・研修会案内が、現状では感染対策や振り込みなどの内容が追加となり、統一できていない状況
- ・一旦整理し、次回までに準備し、新年度に向けて提案したい。

(3) 栄養ケア・ステーション部(寺田理事)

- ・栄養CS支部の位置づけについて

現在報酬の発生は、コーディネート料のみだが、電話相談等も多く、支部に報酬が発生するように予算が組めないか。

月平均 西部（木下）：136分

東部（若林）：129分+α 東部（池谷）：不明（詳細の記録はできないため）

中部（鈴木）：給与が発生しているが、紅林事務局員のサポートも入っている

案：5万/年×2支部。

来年度は、西部・東部で各2万の予算計上。会議費として10万計上→活動費として流用。

ボランティアではなく、持続可能な対策を講じていく必要あり

認定ケア・ステーションも増加している。栄養士会のケアステーションを中心として連携をす

るための会議も必要で、そのための費用も必要である

2023 年度以降は予算として盛り込み、2022 年度は現予算建てで実施していくことで承認

2022 年度木下副会長が退任するにあたり、栄養ケア・ステーションの支部担当も、名簿の管理者（現在理事限定）として承認できるか。

個人情報の取り扱いには共通の認識が必要で、個別に連絡等をする際は留意する。

守秘義務の書類などの整備をしていくことで承認。

ケア・ステーションとしての認知度が上がっている一方で、予算や個人情報等問題はある。

ケア・ステーション事業に対する会員の理解を広めるためにも、研修を企画してはどうか。

(4) 学術部（戸田理事）

2021 年度第 7 回栄養士大会 アンケート報告

【2022 年度第 8 回静岡県栄養士大会について】

候補日：2023 年 2 月 11 日（土）

時間：13：00～16：00

実施方法：Web およびあざれあ会場（ハイブリッド）

参加目標：130 名（会員および非会員）

発表演題数：14 目標（各事業部 2 演題を目指す）

＜次年度への引継ぎ＞

- ・なるべく全ての職域より発表者を募る。
- ・Web 参加者でも発表者に質問しやすい環境づくりをする。
- ・Web 参加者でも会員同士が接点をもてる取り組みを行う。（例：発表会後に職域別集会を実施）

＜今後、要検討事項＞

- ・栄養士大会の開催時間（発表数、発表時間）
- ・賛助会員の参加方法（参加費の有無、資料の提示方法、当日の zoom 参加の有無）

＜次年度計画案＞

	日程	備考
	R4 年度（案）	
あざれあの予約	8 月中	
発表演題募集※	7 月会員送付	7 月理事会提案
発表演者タイトル	10/31	12 月理事会提案
案内文、チラシの発送	12 月会員送付	12 月理事会提案
賛助会員案内文の発送	12 月送付	12 月理事会提案
案内文 HP アップ	12 月理事会後	
参加者申し込み	1/中旬	
賛助会員申し込み	1/中旬	
発表者要旨	1/中旬	
Wi-fi の発注	1/中旬	事務局に依頼
あざれあの支払い	1/中旬	事務局に依頼

賛助会員データ（WEB および配布物）	1/27	
要旨完成、発表者へ事前連絡	1/28	関係理事回覧
HP 資料、Zoom URL の準備	1/28	関係理事回覧
HP アップ、zoom URL の送信	2/4	事務局に依頼
本番	2/11	

ハイブリッドでも質問しやすい環境づくり、新規参加者にも栄養士会の活動を周知できるようにする。

アンケート結果等も分析し、さらに飛躍できるようにしていく

第8回栄養士大会の開催については、全会一致で承認された。

(5) 研究教育事業部（篠原理事）

リカレント教育（管理栄養士国家試験対策含む）について、グーグルフォームアンケート内容ならびに配信、実施の検討

年代、職域、栄養士か管理栄養士か、国試対策となるような内容を盛り込む。

日常の業務の中での疑問点解釈等も盛り込む。

アンケート対象者 メールマガジン会員

アンケート実施予定期間 令和4年4月～1カ月程度を見込む。

9月か10月ころには実施できるか

領域の分散化 復習しなおし等の要望に対応

研究教育事業で進めていく件に関しては、全会一致で承認

希望テーマは、篠原理事に、3月20日までにあげる。

受講料については、次回理事会に素案を作成する。アンケートはテーマのみで行う。

(6) 新入会員の承認について（木下総務部長）

今回は新入会員なし。

賛助会員の申し込みなし。

(7) 坪井会長退任後の名誉会員推薦について

坪井会長が今年度で退任すると、名誉会員の資格を得る。

次年度定時総会で名誉会員として承認いただけるように、理事会で坪井厚会長を推薦したい。

全会一致で承認された。

(参考) 静岡県栄養士会定款 第3章 会員

(2) 名誉会員 正会員であった者で、本会に特別の功労があり、理事会の推薦により総会の承認を得たもの

定款細則 第2章 会員 （名誉会員）

2 正会員が次の各号のいずれかに該当する者として理事会が推薦した正会員について、総会は名誉会員として承認することができる。

(1) 本会の会長を通算 10 年以上歴任し、年齢が 70 歳以上の者。ただし、その役職を退いた者に限る。

5 本会は、本会の名誉会員が日栄の名誉会員規程に該当する場合、日栄の名誉会員として推薦することができる。

(8) その他

①医師及び他職種の会員入会申し込みと研修会参加について

医師（病院長）からの栄養士会入会希望あり。

定款では、栄養士・管理栄養士のみが入会できていることになっている

賛助会員については、個人入会も可能であることから、特例化で対応して様子を見ることで承認
直接、入会希望の目的なども伺い、前向きに検討する。

②新年度の「健康栄養知識普及事業」に関する通知発送について（事務局）

例年 4 月より保健所を通じて通知している文書について承認された。

会員 2 名までの出張費を補助している。

現在コロナ下であり、イベントも少ないことから、通年で申し込みを受け付ける。

③賛助会員の退会について

ネスレ日本 2021 年度会費未納で退会の意志あり、退会届未提出だが退会としてよいのか。
全会一致で承認された。

6 連絡事項

(1) 会員への通知発送について

- ・ 4 月 3 日選挙結果通知送付（長 3 封筒の予定）
- ・ 5 月上旬に発送予定であり、発送が必要な文書の準備を行うこと。

(2) その他

①賛助会員の退会について

東洋水産株式会社 3 月末で退会（田子工場閉鎖のため）

②行政、企業等からの配布物について

事務局に届くがコロナ禍で効果的に使用できないことがある。

理事で活用できるようであれば、利用してほしい。

7 その他

謝金振り込みの取り扱い ゆうちょ銀行から他に変更したい希望がある。

手数料はゆうちょ 100 円、他銀行 165 円であり、格差は少ない。

希望者に対しては対応することで、全会一致で承認。

8 確認事項

(1) 行事日程の確認について

4/17（日）地区代表者会議、第1回理事会

8/28（日）東海北陸地区栄養士会長会議（事務局、Zoomの使用不可）

(2) その他

- ・近年、他職種連携の会議等への会長の参加件数が増大している。次期会長の充て職となると負担が大きい。前会長の協力を得るとともに、理事の皆さんにも協力をお願いしたい
- ・以前の理事会で富士宮市の窓の会より依頼があったためフレイル予防のメニューを作成することの許可は得た。またその後広報部より書式をいただき窓の会より3定食のレシピが作成され広報部に提出された。しかしフレイル予防レシピというだけのタイトルでの枠組みでは難しいという事なので、掲載方法について広報で検討してほしい。
- ・浜松市との連携事業で作成した「あなたと赤ちゃんのためのおすすめ食生活」のリーフレットを紹介。希望者は健康増進課まで連絡をしてほしい。

本日のZOOM（WEB会議）システムを用いた理事会は、終始異状なく議題の審議が終了した。

以 上

出席理事

坪井 厚
木下 初代
新井 英一
戸田 知里（WEB）
天野 利紗（WEB）
宇津木 志のぶ（WEB）
名波 浩美（WEB）
篠原 啓子
三浦 綾子（WEB）
森下 知代（WEB）
若林 恭子
池谷 広美
森平 教子（WEB）
袴田 裕子（WEB）
久保田 美保子（WEB）
渡邊 美子（WEB）
鈴木 恭子
渡邊 潤（WEB）
田森 稔浩（WEB）
寺田 直哉（WEB）



杉山 智子 (WEB)

出席監事 関 明子 (WEB)

議事録作成者 渡邊 美子

議事録作成者 鈴木 恭子

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

2022 年 3 月 13 日

公益社団法人 静岡県栄養士会



会長 坪井 厚 

副会長 新井 英一 

副会長 木下 初代 

監事 関 明子 



